

ものづくり発展図る

東北CAE懇話会
懇話会 北上で10周年大会

東北CAE懇話会
(片野圭二会長)は25日、北上市相去町の北上オフィスプラザで10周年記念大会を開き、コンピュータシミュレーション(CAE)技術を使ったものづくり産業の発展を図った。



東北地方を中心とした企業の技術者や大学

の研究者ら約110人が参加。各団体がCAEの活用例を発表し、交流を深めた。

京都大の小寺秀俊副学長が「日本のイノベ

イノベーションの実現には国境を超えた企業と大学のネットワーク構築が必要だと語る小寺秀俊副学長

ーション創出への課題」と題し講演。「これまで日本では大学が個別に研究を進め、一部の企業だけがその成果をものづくりに活用してきた」と指摘し、「国籍を超えた企業群と大学が集まるフィールドをつくり、幅広い分野の研究をネットワーク化する必要がある」と強調した。